



■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2007年11月30日から2027年11月10日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてアジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。
主要運用対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」およびわが国の証券投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券、短期社債等、コマーシャルペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	第3期決算以降、毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。 ・留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## スパークス・アジア中東株式ファンド （隔月分配型）

### 運用報告書（全体版）

第88期（決算日 2022年 7月11日）

第89期（決算日 2022年 9月12日）

第90期（決算日 2022年11月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、『スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)』は、このたび、第90期の決算を行いました。  
ここに第88期から第90期の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

＜ お問い合わせ先 ＞

リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
第26作成期	76期(2020年 7月10日)	円 8,519	円 45	% 13.7	1,317.2	% 19.4	% 0.5	% 97.7	百万円 1,889
	77期(2020年 9月10日)	8,495	45	0.2	1,322.0	0.4	0.6	97.3	1,846
	78期(2020年11月10日)	8,883	45	5.1	1,440.0	8.9	0.5	97.5	1,907
第27作成期	79期(2021年 1月12日)	9,862	45	11.5	1,616.6	12.3	0.5	97.9	2,063
	80期(2021年 3月10日)	10,234	30	4.1	1,668.9	3.2	0.5	97.3	2,077
	81期(2021年 5月10日)	10,587	30	3.7	1,697.0	1.7	0.5	97.7	2,089
第28作成期	82期(2021年 7月12日)	10,525	30	△ 0.3	1,682.3	△ 0.9	0.5	97.9	2,027
	83期(2021年 9月10日)	10,489	30	△ 0.1	1,658.3	△ 1.4	0.5	98.3	1,966
	84期(2021年11月10日)	11,011	30	5.3	1,672.6	0.9	0.5	97.0	2,024
第29作成期	85期(2022年 1月11日)	10,975	30	△ 0.1	1,658.3	△ 0.9	0.5	97.4	2,006
	86期(2022年 3月10日)	9,627	30	△ 12.0	1,495.7	△ 9.8	0.6	97.7	1,745
	87期(2022年 5月10日)	10,006	30	4.2	1,588.9	6.2	0.6	97.5	1,777
第30作成期	88期(2022年 7月11日)	10,083	30	1.1	1,667.3	4.9	0.6	96.6	1,785
	89期(2022年 9月12日)	10,392	30	3.4	1,693.5	1.6	0.6	97.0	1,831
	90期(2022年11月10日)	9,676	30	△ 6.6	1,593.0	△ 5.9	0.6	97.5	1,670

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注3) MSCI AC Asia Pacific ex Japan Indexは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除くアジア太平洋地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia Pacific ex Japan Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

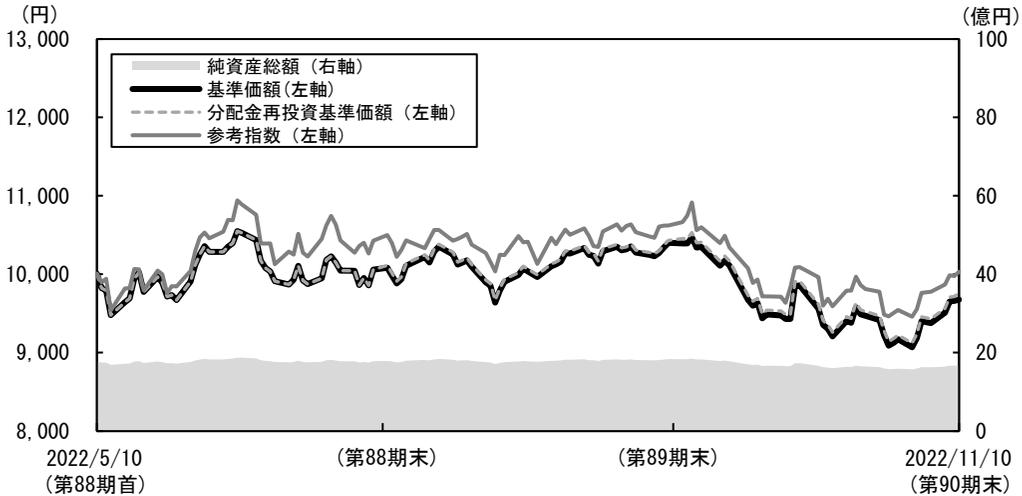
■ 当作成期間中の基準価額と市況等の推移

年 月 日		基 準 価 額		MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
				(参考指数)	騰 落 率		
		円	%		%	%	%
第88期	(期 首) 2022年 5月10日	10,006	—	1,588.9	—	0.6	97.5
	5月末	10,116	1.1	1,634.7	2.9	0.6	96.5
	6月末	10,149	1.4	1,688.4	6.3	0.6	96.9
	(期 末) 2022年 7月11日	10,113	1.1	1,667.3	4.9	0.6	96.6
第89期	(期 首) 2022年 7月11日	10,083	—	1,667.3	—	0.6	96.6
	7月末	10,094	0.1	1,647.8	△ 1.2	0.6	96.6
	8月末	10,316	2.3	1,685.7	1.1	0.6	97.3
	(期 末) 2022年 9月12日	10,422	3.4	1,693.5	1.6	0.6	97.0
第90期	(期 首) 2022年 9月12日	10,392	—	1,693.5	—	0.6	97.0
	9月末	9,486	△ 8.7	1,542.9	△ 8.9	0.6	97.1
	10月末	9,068	△ 12.7	1,502.2	△ 11.3	0.6	97.4
	(期 末) 2022年11月10日	9,706	△ 6.6	1,593.0	△ 5.9	0.6	97.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2022年5月11日～2022年11月10日)



第88期首 : 10,006 円

第90期末 : 9,676 円 (既払分配金90円)

騰落率 :  $\Delta 2.4\%$  (分配金再投資ベース)

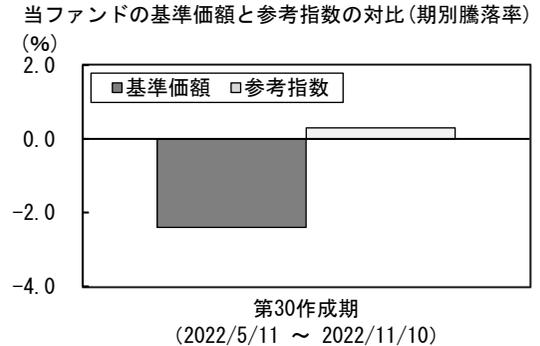
- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。
- ※ 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- ※ 参考指数は期首(2022年5月10日)の基準価額に合わせて指数化しております。

2) 基準価額の主な変動要因

オーストラリア市場、インド市場が上昇したことや、多くの通貨に対して円安になったことが基準価額の上昇要因となりました。一方、香港市場、台湾市場が下落し基準価額の下落要因となりました。

## 3) ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。  
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

## ■ 投資環境

### (アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式)

物価上昇と世界的な金利上昇が引き続き経済成長の足かせとなり、ロシア軍によるウクライナ侵攻の長期化も、コモディティ価格や食料供給の先行き不透明感を一層深める要因となり、多くの市場は下落しました。また、米ドルが大半の通貨に対し、上昇しました。

### (国内債券・短期金融市場)

2016年2月より「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入したため、国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなりました。

## ■ ポートフォリオ

### < スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) >

「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券を主要投資対象とし、期を通じて「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」をおおむね高位に組入れることにより、主にアジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行うことを基本方針としております。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行いました。

### < SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資しました。

#### (主なプラス要因)

中国最大のレストラン運営企業のYum China Holdings Inc(中国/コミュニケーション・サービス)は2021年の売上高は約98億米ドル(約1兆2,600億円)に達しています。2016年にYum! Brands社(米国)から分離独立し、現在は中国でKFC、Pizza Hut、Taco Bellのフランチャイズ店の他、小肥羊(火鍋)、Lavazza café(Lavazzaとの合弁事業)といったブランドの店舗も運営しています。2022年第1四半期(1月~3月)にはKFCとPizza Hutの店舗外での消費がそれぞれ65%、44%増加しており、株価は上昇しました。

インド最大のミドルクラスホテルチェーンのLemon Tree Hotels Ltd(インド/一般消費財・サービス)は、過去2年に及ぶコロナ禍はホテル業界に深刻な影響を及ぼしましたが、同社経営陣はこれを好機として、営業費用を恒久的に減少させるためのコスト削減策を実施し、上昇しました。

#### (主なマイナス要因)

世界最大の半導体ファウンドリ企業であるTaiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd(台湾/情報技術)と世界最大のモバイルチップ設計企業MediaTek Inc(台湾/情報技術)は、アジア株式市場での年初からのグロース株からバリュー株への大規模な転換により下落しました。インフレの進行、金利の上昇、サプライチェーンの寸断、地政学的リスクの影響で、株式市場の大幅な変動が続いています。スマートフォン、パソコン、家電製品向け半導体の2022年の需要見通しが軟化したことを受け、足元株価が調整しています。しかし自動車とサーバー向けの半導体需要は旺盛で、スマートフォンやパソコン向け需要の減少を一部補填できる可能性があると考えています。最近では半導体の用途が多様化しているため、現行サイクルは過去のサイクルほど下落幅が大きくなるのではないかとというのが当ファンドの考えです。いずれも当ファンドの長期組入銘柄で、長年にわたって当ファンドのパフォーマンスに貢献しています。両社は技術面で優位に立っており、経営陣が有能で、取扱製品の市場規模が拡大すると当ファンドは考えています。

### < スパークス・マネー・マザーファンド >

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

## ■ 今後の運用方針

### < スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) >

引き続き、「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」と「スパークス・マネー・マザーファンド(国内証券投資信託)」の投資信託証券を投資対象とし、期を通じて「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド(ケイマン籍証券投資法人)」をおおむね高位に組入れることにより、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式(これに準ずるものを含みます。)に投資します。

### < SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド >

引き続き、アジア太平洋諸国(除く日本)と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

### < スパークス・マネー・マザーファンド >

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## ■ 分配金

当ファンドは、隔月(奇数月、原則10日)に安定的な分配を行うことを目指しております。

基準価額水準、市況動向等を勘案し、第88期、第89期、第90期における分配金は、それぞれ1万口当たり30円(税込み)とさせていただきます。

なお、留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

### 〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

項 目	第88期 (2022年5月11日～ 2022年7月11日)	第89期 (2022年7月12日～ 2022年9月12日)	第90期 (2022年 9月13日～ 2022年11月10日)
当期分配金 (対基準価額比率)	30 ( 0.30%)	30 ( 0.29%)	30 ( 0.31%)
当期の収益	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,432	2,463	2,481

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「—」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

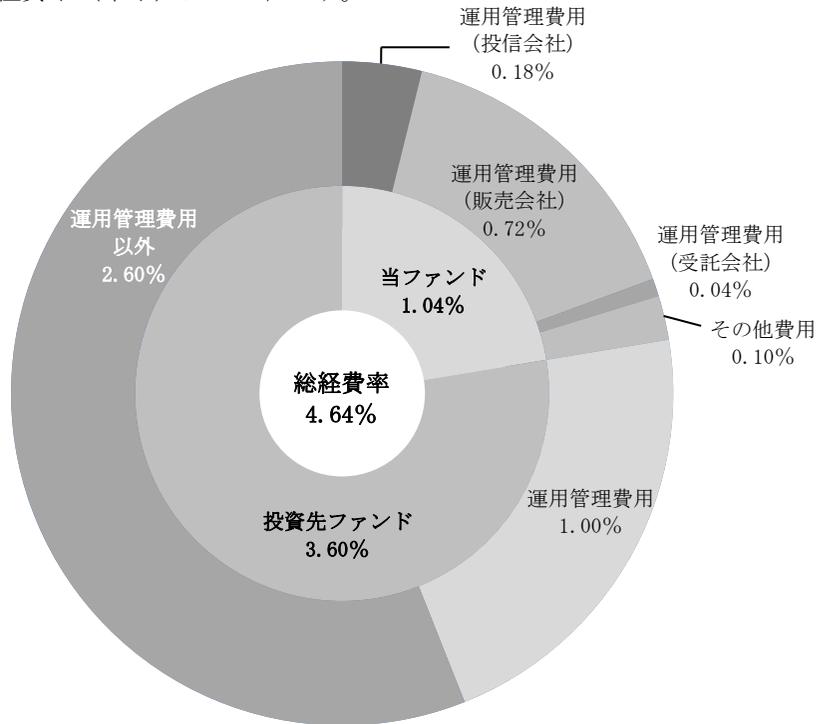
項 目	第88期～第90期 2022年5月11日～2022年11月10日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	47円	0.476%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	( 9)	(0.091)	・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	( 36)	(0.365)	・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	( 2)	(0.020)	・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.050	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	( 2)	(0.020)	・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	( 3)	(0.030)	・法定書類等の作成、印刷費用
合 計	52	0.526	
作成期中の平均基準価額は9,872円です。			

- (注1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。（親投資信託を除く）

(参考情報)

○ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.64%です。



総経費率 (①+②+③)	4.64%
①当ファンドの費用の比率	1.04%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	2.60%

- (注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。  
 (注) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。  
 (注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 売買および取引の状況 (2022年5月11日から2022年11月10日まで)

投資証券

銘柄名	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 —	千円 —	千口 4	千円 37,088

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2022年5月11日から2022年11月10日まで)

該当事項はありません。

■ 主要な売買銘柄 (2022年5月11日から2022年11月10日まで)

投資証券

買付			売付		
銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額
—	千口 —	千円 —	SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	千口 4	千円 37,088

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2022年5月11日から2022年11月10日まで)

(1) 当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

種類	当作成期		
	買付額	売付額	当作成期末保有額
投資証券	百万円 —	百万円 37	百万円 1,629

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

(注3) 当ファンドが主要な投資対象としている「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」は弊社  
の関係会社であるSPARX Asia Capital Management Limitedが運用を行っております。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2022年5月11日から2022年11月10日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との  
当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分状況 (2022年5月11日から2022年11月10日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2022年11月10日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第29作成期末	第30作成期末		
		口数	口数	評価額	比率
SPARK・アジア・ミッドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド		千口 176	千口 172	千円 1,629,686	% 97.5
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	176 —	172 —	1,629,686 1銘柄	— <97.5%>

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第29作成期末	第30作成期末	
	口数	口数	評価額
スパークス・マネー・マザーファンド	千口 9,964	千口 9,964	千円 10,115

(注1) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当該マザーファンドの当作成期末の受益権総口数は、10,004千口です。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2022年11月10日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2022年11月10日現在)

項目	第30作成期末	
	評価額	比率
投資証券	千円 1,629,686	% 96.7
スパークス・マネー・マザーファンド	10,115	0.6
コール・ローン等、その他	44,958	2.7
投資信託財産総額	1,684,759	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第 88 期末 2022 年 7 月 11 日	第 89 期末 2022 年 9 月 12 日	第 90 期末 2022 年 11 月 10 日
(A) 資 産	1,793,863,978 円	1,839,873,051 円	1,684,759,375 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	58,521,351	52,670,871	44,957,047
スパークス・マネー・マザーファンド(評価額)	10,116,787	10,114,794	10,115,790
投 資 証 券 (評価額)	1,725,225,840	1,777,087,386	1,629,686,538
(B) 負 債	8,440,052	8,618,266	13,765,664
未 払 収 益 分 配 金	5,312,276	5,286,601	5,180,674
未 払 解 約 金	—	97,467	5,740,886
未 払 信 託 報 酬	2,836,161	2,915,906	2,560,086
未 払 利 息	160	144	123
そ の 他 未 払 費 用	291,455	318,148	283,895
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,785,423,926	1,831,254,785	1,670,993,711
元 本	1,770,758,777	1,762,200,610	1,726,891,407
次 期 繰 越 損 益 金	14,665,149	69,054,175	△ 55,897,696
(D) 受 益 権 総 口 数	1,770,758,777 口	1,762,200,610 口	1,726,891,407 口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	10,083 円	10,392 円	9,676 円

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

① 作成期首元本額	1,776,773,078 円
作成期中追加設定元本額	9,866,892 円
作成期中一部解約元本額	59,748,563 円

■ 損益の状況

項 目	第88期		第89期		第90期	
	自 2022年 5月 11日 至 2022年 7月 11日		自 2022年 7月 12日 至 2022年 9月 12日		自 2022年 9月 13日 至 2022年 11月 10日	
(A)配 当 等 收 益	11,341,299円		11,340,967円		11,182,987円	
受 取 配 当 金	11,350,170		11,349,711		11,189,570	
支 払 利 息	△ 8,871		△ 8,744		△ 6,583	
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	10,698,863		51,634,990		△ 126,647,413	
売 買 益	11,560,328		51,882,177		2,527,291	
売 買 損	△ 861,465		△ 247,187		△ 129,174,704	
(C)信 託 報 酬 等	△ 3,127,616		△ 3,234,054		△ 2,843,981	
(D)当 期 損 益 金 (A+B+C)	18,912,546		59,741,903		△ 118,308,407	
(E)前 期 繰 越 損 益 金	113,749,268		126,503,422		176,971,777	
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 112,684,389		△ 111,904,549		△ 109,380,392	
(配 当 等 相 当 額)	( 47,615,405)		( 48,079,737)		( 47,887,129)	
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 160,299,794)		(△ 159,984,286)		(△ 157,267,521)	
(G)合 計 (D+E+F)	19,977,425		74,340,776		△ 50,717,022	
(H)次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 5,312,276		△ 5,286,601		△ 5,180,674	
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 112,684,389		△ 111,904,549		△ 109,380,392	
(配 当 等 相 当 額)	( 47,615,405)		( 48,079,737)		( 47,887,129)	
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 160,299,794)		(△ 159,984,286)		(△ 157,267,521)	
分 配 準 備 積 立 金	383,146,695		386,072,961		380,725,197	
繰 越 損 益 金	△ 255,797,157		△ 205,114,237		△ 327,242,501	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

② 分配金の計算過程

項 目		第 88 期	第 89 期	第 90 期
費用控除後の配当等収益額	A	9,731,828円	10,758,514円	8,339,006円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	－円	－円	－円
収益調整金額	C	47,615,405円	48,079,737円	47,887,129円
分配準備積立金額	D	378,727,143円	380,601,048円	377,566,865円
当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D)	E	436,074,376円	439,439,299円	433,793,000円
当ファンドの期末残存口数	F	1,770,758,777口	1,762,200,610口	1,726,891,407口
1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000)	G	2,462.64円	2,493.69円	2,511.98円
1万口当たり分配金額	H	30円	30円	30円
収益分配金金額 (I=F×H/10,000)	I	5,312,276円	5,286,601円	5,180,674円

## ■ 分配金のお知らせ

	1万口当たり分配金(税込み)
第88期	30円
第89期	30円
第90期	30円

- ◇ 分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払を開始しております。
- ◇ 分配金を再投資される方のお手取分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◇ 課税上の取り扱い
  - ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
  - ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※ 詳細につきましては、税務専門家等に確認されることをお勧めします。  
 なお、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

## ■ お知らせ

該当事項はありません。

ご参考として以下に、スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)が組入れている各投資対象ファンドの運用内容を掲載いたします。

## <参考情報>

### SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド

SPARX ASIA MIDDLE EAST EQUITY INCOME FUND

#### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

設 定 形 態	ケイマン籍証券投資法人／オープン・エンド型
基 準 通 貨	日本円
運 用 方 針	アジア中東地域の株式ならびにそれらの株式に関連する証券等を主要な投資対象として、長期的なインカムゲインおよびキャピタル・ゲインの獲得を目指します。
主 な 投 資 制 限	一発行体への投資は純資産総額の10%以内。 流動性の低い株式関連証券等への投資は純資産総額の15%以内。 発行済株式に対する投資比率は50%以内。
決 算 日	12月末日
分 配 方 針	毎年、2月、4月、6月、8月、10月、12月の各末日に、インカム・ゲインならびにキャピタルゲインを原資として分配する方針としています。
管 理 運 用 会 社	SPARX Asia Capital Management Limited
投 資 運 用 会 社	SPARX Asia Investment Advisors Limited
受 託 会 社	HSBC Trustee (Cayman) Limited
受 託 会 社 代 理 人	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited
保 管 会 社	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited

(注) 記載内容、数値等は、当報告書作成日現在知りうる情報に基づき作成しております。

■ 組入資産の明細 (2022年11月9日現在)

外国株式等

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(アラブ首長国連邦市場)	百株	千UAEディルハム	千円		
First Abu Dhabi Bank PJSC	718	1,320	52,261	投資銀行・ブローカー	
小計	株数・金額	718	52,261		
	銘柄数<比率>	1銘柄	< 3.1% >		
(オーストラリア市場)	百株	千豪ドル	千円		
Aristocrat Leisure Ltd	102	378	35,823	カジノ・ギャンブル	
CSL Ltd	21	589	55,754	バイオテクノロジー	
Transurban Group Unit	652	889	84,171	その他輸送	
Treasury Wine Estates Ltd	194	247	23,366	アルコール飲料	
小計	株数・金額	970	199,113		
	銘柄数<比率>	4銘柄	< 11.9% >		
(中国市場)	百株	千人民元	千円		
Kweichow Moutai Co Ltd A Shrs	9	1,314	26,395	アルコール飲料	
小計	株数・金額	9	26,395		
	銘柄数<比率>	1銘柄	< 1.6% >		
(香港市場)	百株	千香港ドル	千円		
AIA Group Ltd	986	6,710	124,279	総合保険	
Alibaba Group Holding Ltd (HKSE)	131	865	16,014	インターネット販売	
China State Construction International Holdings Ltd (HKSE)	5,523	4,490	83,161	建設・土木	
HSBC Holdings Plc (HKSE)	488	2,098	38,867	主要銀行	
Haier Smart Home Co Ltd H Shrs	888	1,949	36,103	電化製品	
Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd (HKSE)	28	728	13,484	投資銀行・ブローカー	
NWS Holdings Ltd	3,310	2,019	37,398	建設・土木	
New World Development Co Ltd (HKSE)	420	697	12,914	不動産開発	
Shenzhou International Group Holdings Ltd	68	406	7,513	衣料・履物	
Techtronic Industries Co Ltd	140	1,159	21,458	電動工具製品	
Tencent Holdings Ltd	129	3,055	56,580	インターネット・ソフトウェアサービス	
Truly International Holdings Ltd	5,320	591	10,938	コンピューター周辺機器	
Yum China Holdings Inc	55	2,161	40,035	レストラン	
小計	株数・金額	17,485	498,745		
	銘柄数<比率>	13銘柄	< 29.8% >		

## スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
<b>(インドネシア市場)</b>		百株	千インドネシアルピア	千円		
Bank Central Asia Tbk (DMT)		4,380	3,887,250	36,092	地方銀行	
Telkom Indonesia Persero Tbk PT		15,369	6,439,611	59,790	無線通信	
小計	株数・金額	19,749	10,326,861	95,883		
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 5.7% >		
<b>(インド市場)</b>		百株	千インドルピー	千円		
Bharti Airtel Ltd		15	660	1,180	主要通信	
Bharti Airtel Ltd (NSI)		210	17,237	30,805	主要通信	
HDFC Bank Ltd (NSI)		112	16,850	30,113	地方銀行	
ICICI Lombard General Insurance Co Ltd		77	8,897	15,901	特殊保険	
Lemon Tree Hotels Ltd		2,368	22,712	40,590	ホテル・リゾート関連	
SBI Cards & Payment Services Ltd (NSI)		327	26,645	47,619	主要銀行	
Zee Entertainment Enterprises Ltd (DMT) (NSI)		342	8,972	16,035	映画・娯楽	
小計	株数・金額	3,452	101,973	182,243		
	銘柄数<比率>	7銘柄	—	< 10.9% >		
<b>(韓国市場)</b>		百株	千韓国ウォン	千円		
LG Chem Ltd		4	262,405	28,053	特殊化学	
Samsung Electronics Co Ltd		132	817,656	87,415	通信機器	
小計	株数・金額	136	1,080,061	115,468		
	銘柄数<比率>	2銘柄	—	< 6.9% >		
<b>(マレーシア市場)</b>		百株	千マレーシアリングギット	千円		
Genting Malaysia		3,920	1,054	32,732	カジノ・ギャンブル	
小計	株数・金額	3,920	1,054	32,732		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 2.0% >		
<b>(フィリピン市場)</b>		百株	千フィリピンペソ	千円		
Puregold Price Club Inc		1,650	5,379	13,514	食品小売り	
小計	株数・金額	1,650	5,379	13,514		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 0.8% >		
<b>(サウジアラビア市場)</b>		百株	千サウジアラビアリヤル	千円		
Saudi British Bank (The)		110	473	18,294	地方銀行	
小計	株数・金額	110	473	18,294		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 1.1% >		
<b>(シンガポール市場)</b>		百株	千シンガポールドル	千円		
DBS Group Holdings Ltd		59	205	21,283	主要銀行	
小計	株数・金額	59	205	21,283		
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	< 1.3% >		

## スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

銘柄	株数	評価額		業種等	備考
		外貨建金額	基準通貨建金額		
(タイ市場)	百株	千タイバーツ	千円		
Advanced Info Service Pcl NVDR	510	9,588	37,982	無線通信	
小計	株数・金額	510	9,588	37,982	
	銘柄数<比率>	1銘柄	—	<2.3%>	
(台湾市場)	百株	千台湾ドル	千円		
91APP Inc	190	1,577	7,210	パッケージ・ソフトウェア	
Ememory Technology Inc	160	20,080	91,809	半導体	
MediaTek Inc	320	20,800	95,101	半導体	
Momo.com Inc	116	5,960	27,249	カタログ販売	
Poya International Co Ltd	129	6,081	27,803	専門小売	
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	530	22,101	101,050	半導体	
小計	株数・金額	1,446	76,599	350,222	
	銘柄数<比率>	6銘柄	—	<20.9%>	
合計	株数・金額	50,213	—	1,644,136	
	銘柄数<比率>	41銘柄	—	<98.2%>	

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。

(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

■ 損益計算書

損 益 計 算 書

自 2022年 5月 7日  
至 2022年11月 9日

(単位：千円)

収益			
受取配当金			30,389
受取利息			181
解約差益			0
その他収益			0
	収益計		30,571
費用			
支払利息			0
受託会社報酬			17,832
監査報酬			2,708
源泉税			3,434
管理運営会社報酬			8,917
管理事務報酬			2,025
設立費償却			0
その他費用			2,015
	費用計		36,932
純投資損益			△6,361
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる実現損益			
投資有価証券売買損益			10,106
為替差損益			2,353
			12,460
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる未実現損益増減			
有価証券未実現純評価損益増減			△39,761
為替未実現純評価損益増減			211
			△39,550
営業活動による純資産の純増減額			△33,451

(注1) 上記の損益計算書は、管理運営会社が提供した純資産計算書の情報に基づき、弊社が作成したものです。

(注2) 管理運営会社が提供した純資産計算書は、外部監査人による監査を受けておりません。

## スパークス・マネー・マザーファンド

### 第 15 期

決算日 2022年11月10日

(計算期間：2021年11月11日～2022年11月10日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。主として、わが国の公社債に投資を行い利息等収益の確保を図ります。
主な組入制限	①株式(新株予約権証券を含みます。)への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額5%以内とします。
分配方針	収益分配は行いません。

### スパークス・アセット・マネジメント株式会社

東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテール・ビジネス・デベロップメント部

電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組入比率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		
	円	%	%	百万円
11期(2018年11月12日)	10,131	△0.1	99.4	10
12期(2019年11月11日)	10,306	1.7	99.1	10
13期(2020年11月10日)	10,234	△0.7	99.0	10
14期(2021年11月10日)	10,227	△0.1	98.8	10
15期(2022年11月10日)	10,152	△0.7	98.7	10

■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組入比率
		騰 落 率	
(期 首)	円	%	%
2021年11月10日	10,227	—	98.8
11月末	10,224	△0.0	98.8
12月末	10,212	△0.1	98.8
2022年 1月末	10,179	△0.5	98.8
2月末	10,162	△0.6	98.8
3月末	10,149	△0.8	98.8
4月末	10,165	△0.6	98.8
5月末	10,163	△0.6	98.8
6月末	10,155	△0.7	98.8
7月末	10,188	△0.4	98.8
8月末	10,170	△0.6	98.8
9月末	10,142	△0.8	98.7
10月末	10,145	△0.8	98.7
(期 末)			
2022年11月10日	10,152	△0.7	98.7

(注) 騰落率は期首比です。

## ■ 基準価額の推移



## ■ 運用経過

当マザーファンドは、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

## ■ 今後の運用方針

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

## ■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ **期中の売買及び取引の状況**（2021年11月11日から2022年11月10日まで）

該当事項はありません。

■ **利害関係人との取引状況等**（2021年11月11日から2022年11月10日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定する利害関係人です。

■ **信託財産と委託会社との間の取引の状況**（2021年11月11日から2022年11月10日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ **委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況**（2021年11月11日から2022年11月10日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2022年11月10日現在)

下記は、スパークス・マネー・マザーファンド全体(10,004千口)の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	額面金額	評 価 額	組入比率	当 期 末			
				組 入 比 率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					(5年以上)	(2年以上)	(2年未満)
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	10,000	10,027	98.7	—	—	98.7	—
合 計	10,000	10,027	98.7	—	—	98.7	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 単位未満は切り捨て。一印は組み入れなし。

(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第347回長期国債10年	0.1	10,000	10,027	2027/6/20
合 計		—	10,000	10,027	—

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2022年11月10日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2022年11月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	10,027	98.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	128	1.3
投 資 信 託 財 産 総 額	10,155	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年11月10日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	10,155,894 円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	124,533
公 社 債 ( 評 価 額 )	10,027,500
未 収 利 息	3,861
(B)負 債	0
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	10,155,894
元 本	10,004,018
次 期 繰 越 損 益 金	151,876
(D)受 益 権 総 口 数	10,004,018 口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,152 円

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額	10,004,018 円
期中追加設定元本額	－円
期中一部解約元本額	－円
2. 期末元本の内訳	
スパークス・アジア中東株式ファンド (隔月分配型)	9,964,333 円
スパークス・アジア中東株式ファンド (資産成長型)	10,659 円
スパークス・ベスト・ピック・ファンドII(日本アジア)ヘッジあり	9,616 円
スパークス・ベスト・ピック・ファンドII(日本アジア)ヘッジなし	9,616 円
スパークス・日本アジア厳選株・ヘッジ型(ダイワ投資一任専用)	9,794 円

■ お知らせ

該当事項はありません。

■ 損益の状況

当期 (自2021年11月11日 至2022年11月10日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	9,974 円
受 取 利 息	10,000
支 払 利 息	△ 26
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 85,200
売 買 損	△ 85,200
(C)当 期 損 益 金 (A+B)	△ 75,226
(D)前 期 繰 越 損 益 金	227,102
(E)合 計 (C+D)	151,876
次 期 繰 越 損 益 金 (E)	151,876

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。